

日本学術会議地球惑星科学委員会 SCOR 分科会  
SIMSEA 小委員会 第 25 期第 2 回会合（議事メモ）

日時：2022 年 3 月 31 日（木） 10 時 30 分～11 時 50 分

場所：オンライン（ZOOM）

出席者：別紙のとおり

議事次第：

<報告事項>

（1）SIMSEA の活動動向

（2）学術会議関連

- ・日本学術会議公開シンポジウム「沿岸環境の変化と人間活動-10 年後を見据えた課題と対応-」企画案
- ・持続可能な発展のための国際基礎科学年 2022（IYBSSD2022）連絡会議
- ・カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議

<審議事項>

（1）SIMSEA 小委員会の当面の主要活動テーマ候補としての重層型リージョナル・ネットワーク形成戦略

- ・SDGs 達成に資する多国間研究協力(STAND)「海洋科学及び水問題等東南アジアにおける持続可能開発」領域公募採択課題「SEA 沿岸域における統合型ネットワークベース管理プロジェクト（InMSEA）」の概要説明
- ・STAND-InMSEA プロジェクト等をステップとした、重層型リージョナル・ネットワーク形成とそれに基づく統合的モニタリング・沿岸域管理フレーム構築に向けての SIMSEA 小委員会のコミットメントの可能性

（2）上記に関連するトピックスについてのプレゼン・シリーズ企画

（3）その他

配布資料：

資料 1：SIMSEA 活動動向に関する SIMSEA 事務局作成資料

資料 2：シンポジウム様式【地球・人間圏分科会】提案書\_0323

資料 3：持続可能な発展のための国際基礎科学年（IYBSSD2022）連絡会議関連

資料 4：カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議

資料 5：STAND-InMSEA プロジェクトの概要

議事：

<報告事項>

(1) SIMSEA の活動動向

灘岡委員長より、資料 1 (SIMSEA 事務局作成) を用いて SIMSEA の活動動向について報告が行われた。2021 年 6 月に行われた Sustainability Research Innovation (SRI) の会議におけるセッションの提案・開催や、SIMSEA メンバーが参加している Belmont Forum 国際公募採択プロジェクト COAST Card (米国、フィリピン、日本、インド、ノルウェーの 5 か国プロジェクトで、日本側メンバーには SIMSEA 小委員会委員 6 名が含まれる) が紹介された。今後の計画として、学術誌への論文投稿、国連海洋科学 10 年に関連したウェビナーのホスト開催、新たな SIMSEA SSC メンバーの招へいなどが紹介された。そして、SIMSEA が主体となった活動は概して低調で、ファンドの獲得などの課題が共有された。山形委員より、論文作成は SRI のセッションをもとに作成する話になっていること、また、若手がメンバーに加わっていくことの必要性が示された。

(2) 学術会議関連

学術会議関連の報告事項として、植松委員より資料 2 を用いて、日本学術会議公開シンポジウム「沿岸環境の変化と人間活動-10 年後を見据えた課題と対応-」の企画案について報告が行われた。また、角田幹事より資料 3 を用いた持続可能な発展のための国際基礎科学年 2022 (IYBSSD2022) 連絡会議についての報告が、古川副委員長より、資料 4 を用いたカーボンニュートラル (ネットゼロ) に関する連絡会議の報告が行われた。これらに対して植松委員より、日本学術会議公開シンポジウムでは IYBSSD2022 のロゴ利用申請を行った旨が報告された。

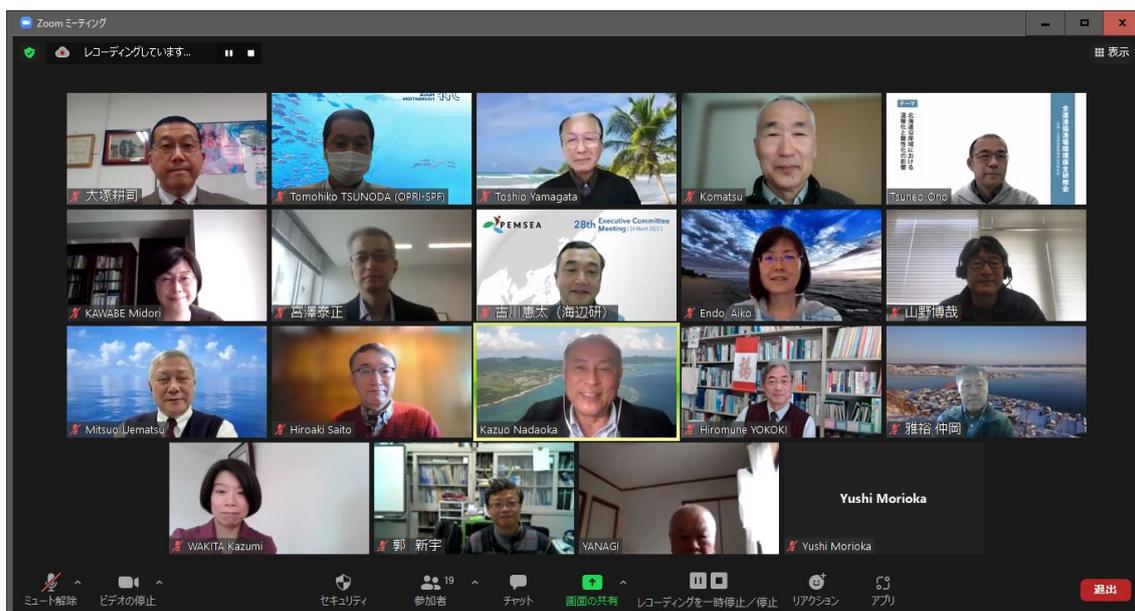
<審議事項>

灘岡委員長より、資料 5 を用いて SIMSEA 小委員会の当面の主要活動テーマ候補としての重層型リージョナル・ネットワーク形成戦略に係る審議の一環として、SDGs 達成に資する多国間研究協力 (STAND) 「海洋科学及び水問題等東南アジアにおける持続可能開発」領域公募採択課題「SEA 沿岸域における統合型ネットワークベース管理プロジェクト (InMSEA)」の概要紹介が行われた。STAND が英国・フィリピン・日本のファンディング機関が国際連携する形のユニークな事業であることや、STAND が一種のパイロット事業としてのプロジェクト公募であり、今後、より本格的な大型プロジェクトの公募プログラムが、同様の複数国のファンディング機関連携型で実施される可能性が高いことが紹介された。そして、STAND-InMSEA プロジェクトの出口戦略の一つとして、その大型プロジェクト公募を想定した申請書の共同準備作業を行う計画であることなどが示された。これに対して、東南アジアでの中国の対応状況について植松委員より質問があり、齊藤委員より、IOC/WESTPAC のなかでの中国のプレゼンスや、中国の大学による東南アジア地域の大学への沿岸研究センター設置などの事例が示された。また、植松委員より、WESTPAC との

連携・情報交換の必要性について発言があり、瀬岡委員長より STAND のキックオフイベントなどの機会を通じて連携を検討する旨が示された。

続いて審議事項として、STAND-InMSEA プロジェクト等をステップとした、重層型リージョナル・ネットワーク形成とそれに基づく統合的モニタリング・沿岸域管理フレーム構築に向けた、本小委員会の貢献可能性として、関連トピックについて意見交換を行うプレゼン・シリーズの企画について議論が行われた。瀬岡委員長より、第具体的テーマとして「PEMSEA における重層的なネットワークと地域戦略の推進体制」や「“国連海洋科学の 10 年”および“国連生態系回復の 10 年”の動向と東・南アジア地域との連携戦略」などが示された。これに対して、対象地域について小椋委員より質問があり、瀬岡委員長より東アジア及び南アジアを広く対象とする旨が回答された。企画の承認後、第 1 回の時期や開催頻度についての議論が行われ、第 1 回を 5 月頃に行うこと、また、3~4 カ月毎に行うことが確認された。

以上



出席者一覧（集合写真）

日本学術会議地球惑星科学委員会 SCOR 分科会  
SIMSEA 小委員会 第 25 期第 2 回会合（出席状況）

会員の別	役職	氏 名	出 欠	備 考
連携会員		植松 光夫	出	
連携会員		齋藤 文紀	欠	
連携会員		張 勁	欠	
連携会員		八木 信行	欠	
連携会員		山形 俊男	出	
		遠藤 愛子	出	途中退席
		大塚 耕司	出	
		小埜 恒夫	出	
		郭 新宇	出	
		川辺 みどり	出	
		児玉 真史	欠	
		小松 輝久	出	
		齊藤 宏明	出	
	幹事	角田 智彦	出	
		仲岡 雅裕	出	
	委員長	灘岡 和夫	出	
	副委員長	古川 恵太	出	
		牧野 光琢	欠	
		宮澤 泰正	出	
		森岡 優志	出	
		八木 信行	出	
		柳 哲雄	出	
		山野 博哉	出	
		横木 裕宗	出	
		脇田 和美	出	